

氏名 (法人にあっては名称)	自然電力株式会社
住所	福岡県福岡市中央区荒戸1-1-6 福岡大濠ビル6階

自社等発電所(*1)の有無	無															
電気事業の概要	<p>自然電力グループは、「エネルギーから世界を変える」という企業理念のもと、太陽光・風力等、自然エネルギー発電所の設置から電力小売までワンストップサービスの提供をしており、持続可能な社会の構築に向け活動する企業・団体のニーズにお応えします。</p> <p>事業内容： 自然電力株式会社にて、太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の発電事業（IPP）、事業開発・資金調達、アセットマネジメント、個人・法人向け電力小売事業等を行っております。 また、グループ会社であるjuwi（ユーイ）自然電力株式会社・juwi自然電力オペレーション株式会社では、太陽光や風力等、自然エネルギー発電所のEPC(設計・調達・建設)、O&M(運営・保守)等を行っております。</p>															
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	<p>■その他の温暖化対策に係る取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT技術を活用した高度なエネルギー管理の検討により、自然エネルギー利用の選択肢を増やすことを目指します。 															
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>基礎排出係数(*2)</th> <th>調整後排出係数(*3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度実績 (2021年度)</td> <td>0.396 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>当年度目標 (2022年度)</td> <td>0.400 (kg-CO₂/kWh)</td> <td>0.000 (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>短期目標 (2024年度)</td> <td>- (kg-CO₂/kWh)</td> <td>- (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> <tr> <td>長期目標 (2032年度)</td> <td>- (kg-CO₂/kWh)</td> <td>- (kg-CO₂/kWh)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(目標に係る措置の考え方)</p> <p>慢性的な電力卸価格の高騰により、2022年11月30日で、電力小売事業を終了することが決まりました。そのため、短期および長期目標の設定は割愛します。</p>	年 度	基礎排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)	前年度実績 (2021年度)	0.396 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	当年度目標 (2022年度)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	短期目標 (2024年度)	- (kg-CO ₂ /kWh)	- (kg-CO ₂ /kWh)	長期目標 (2032年度)	- (kg-CO ₂ /kWh)	- (kg-CO ₂ /kWh)
年 度	基礎排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)														
前年度実績 (2021年度)	0.396 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)														
当年度目標 (2022年度)	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)														
短期目標 (2024年度)	- (kg-CO ₂ /kWh)	- (kg-CO ₂ /kWh)														
長期目標 (2032年度)	- (kg-CO ₂ /kWh)	- (kg-CO ₂ /kWh)														

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 基礎排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（基礎二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、基礎二酸化炭素排出量に固定価格買取調整二酸化炭素排出量を足したのから、電気事業者が排出量調整無効化した国内及び海外認証排出削減量等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2021 年度)	13 (千kWh)	7.40 (%)
	当年度目標 (2022 年度)	7 (千kWh)	7.40 (%)
	短期目標 (2024 年度)	- (千kWh)	- (%)
	長期目標 (2032 年度)	- (千kWh)	- (%)
	(目標に係る措置の内容) 慢性的な電力卸価格の高騰により、2022年11月30日で、電力小売事業を終了することが決まりました。そのため、短期および長期目標の設定は割愛します。		
調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2021 年度)	180 (千kWh)	100.00 (%)
	当年度目標 (2022 年度)	180 (千kWh)	100.00 (%)
	短期目標 (2024 年度)	- (千kWh)	- (%)
	長期目標 (2032 年度)	- (千kWh)	- (%)
	(目標に係る措置の内容) 慢性的な電力卸価格の高騰により、2022年11月30日で、電力小売事業を終了することが決まりました。そのため、短期および長期目標の設定は割愛します。		
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	特に利用予定はありません。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	火力発電所は所有していません。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	特にありません。		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	<p>・弊社の行動指針には、「地球を楽しもう」「地球の未来に責任を持とう」などがあります。</p> <p>これらを体現すべく、空調設定温度28℃(夏季)及び19℃(冬季)の徹底などオフィスでの対策はもちろんのこと、「海部山部」といった自然を楽しむ活動を通して、地球温暖化および自然エネルギー100%社会に向けた気づきの場としてまいります。</p>		

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー(太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの)による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物(バイオマスを除く)の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。